

「平成28年度 学校関係者評価結果報告書」の公表について

平成28年度における当校の学校関係者評価を行いましたので、その結果報告書を公表いたします。
評価委員の皆様からいただいた改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご指導を賜りつつ、それぞれについて改善や工夫を図り、学校運営・教育活動の更なる向上をめざします。今後も、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

評価項目	平成28年度 自己点検評価		学校関係者評価結果 (自己点検評価の適正について)	
	評価 平均	概要説明	適正度	コメント
1 教育理念・目標	3.0	現状 平均点は前回と大きな変化はないが、特色や将来構想の点数がやや低くなっている。	適正度	3.3 ・プロジェクトチームがどのようなものか重要
		改善策 学校の将来構想について経営的なことも視野に入れながら計画を立て、そこから特色に落とし込んでいきたい。学校の方向性に関するプロジェクトチームが作られる予定である。	ご意見	
2 学校運営	2.7	現状 前回と比較して大きな変化はない。全体的に点数が低めであり、学校運営については体制に弱い部分を感じられる。	適正度	3.3 特になし
		改善策 本校を含む学校法人全体として体制を整えていきたい。プロジェクトチームが作られる予定である。	ご意見	
3 教育活動	3.3	現状 平均点が大きく改善している。その理由は、学生による授業評価アンケートを実施したこと、自動車整備学科が内定先へのインターンシップを始めたことなどによる。	適正度	3.7 ・情報システム学科もインターンシップを検討してみたい
		改善策 今年度の取り組みを継続して行い、学生や外部の評価をフィードバックしていきたい。	ご意見	
4 学修成果	3.2	現状 概ね点数が向上した。情報システム学科の資格取得率の向上などが寄与した。	適正度	3.7 ・向上した項目の理由を知りたい。
		改善策 卒業生の動向調査などを検討し、その後の把握に努めたい。	ご意見	
5 学生支援	2.8	現状 平均点は横ばい。就職内定率が早期に100%に達したことを反映して、就職支援体制が満点である。	適正度	3.0 ・内定率が早期に100%になったのは良いが、学生の見極めが短いため、離職率が心配である。
		改善策 学生へのさまざまな支援体制に関して、強いものと弱いものがあり、弱い部分を強化したい。	ご意見	
6 教育環境	2.9	現状 大きな変化はなし。	適正度	3.0 ・ハイブリッド車など、設備として整えることが難しいものもあるが、そういうところで協力ができるので企業を活用してほしい。
		改善策 予算のかかる設備は計画的に整備していきたい。	ご意見	
7 学生の受入れ 募集	3.3	現状 改善の傾向にある。	適正度	3.7 ・自動車整備学科の入学者が増えた要因は何か。
		改善策 募集活動はおおむね適正であるので、フォローアップなどによりそれを入学者の数に確実につなげていきたい。	ご意見	
8 財務	2.8	現状 学生募集がうまくいっていない部分があり、財務基盤の点数が低くなっている。	適正度	3.0 特になし
		改善策 学生募集に知恵を絞り実行していくこと、また中長期的な経営戦略を打ち出していく。	ご意見	

9 法令等の遵守	3.2	現状	改善の傾向にある。自己評価結果を公表していることは理解された。	適正度	3.3
		改善策	自己評価の問題点の改善に努めたい。	ご意見	特になし
10 社会貢献 地域貢献	3.0	現状	今年度は職業教育訓練を受託したため、該当項目の点数が増加している。	適正度	3.0
		改善策	社会貢献・地域貢献はできる範囲内で拡充をしていきたい。	ご意見	・タイヤ交換はどのくらいやっているのか。

学校関係者評価委員会実施日時:2017年3月23日(木) 16:00~17:00

学校関係者評価委員

相澤 齊樹 アースシステム株式会社
今井 淳 長野県自動車整備振興会
小口 幸俊 トヨタカローラ南信(株)